



第17号

2000.10

社団法人 千葉県緑化推進委員会

特集 広がる緑化運動の

今年10月、当委員会は、設立50周年を迎えました。戦後の荒廃した山林の復興のために始められた緑化運動は、現在では環境問題をも視野に入れた地球規模の運動へと拡大しております。この緑化運動も、近年は個人や町内、企業、市町村単位で積極的に行われており、その輪もますます広がりを見せております。そこで今回は、市町村単位での運動にスポットをあて、誌面の都合上4市の運動の状況をご紹介します。

緑の基本計画のキャッチフレーズは 歩こう・ふれよう「緑・水・ふるさと・ ふなばし」(船橋市)

船橋市は平成4年に福祉と緑の都市宣言を行い、街づくりに緑地の保全と緑化推進を図ることにしました。また翌年には建設省が進める「環境共生モデル都市(エコシティ)」にも指定されました。これからの街づくりには市街地に残された斜面樹林、海老川を中心とした水辺空間、公園、都市計画道路などの街路樹を、有効かつ適切にネットワークさせ、都市と自然が調和し、景観的に優れた緑が保全されることが大切です。昔の海岸線の名残りを伝えるクロマツの林や、源流から海まで歩ける海老川流域など、市内に存在する貴重な自然や緑を大切に守り、お年寄りから子供まで、緑と水にふれあいながら歩ける都市を目指しています。

文人が愛したすばらしい景観を 後世まで(我孫子市)

かつて文人たちを魅了した、手賀沼や利根川と下総台地が織り成す水辺や田園の景観。我孫子市は、こうした景観を大切に、さらに、より優れた景観を次世代に引き継ぐために、平成11年に景観条例を公布しました。

それに先立ち、平成9年に始められたのが、「我孫子市景観賞」でした。街の風景をひきたてている建築物や緑地、水辺、また、街並みの景観を良くしたり、我孫子らしい景観を守り、育てている人が果たす役割は、大きなものがあります。こうした我孫子らしい景観づくりを、市民の皆さんといっしょに進めていくために設けた賞です。これまでに、4ヶ所が景観賞に輝き、3ヶ所が景観奨励賞に輝きました。今年も、多数の応募があり、11月に審査結果を発表する予定です。

豊かな我孫子の自然と歴史。条例や景観賞によって、それらが守られればと祈念しております。



第1回景観賞に輝いた「手賀沼公園ギブラ美木」



昨年度の景観賞「相馬新田名主宅」(井上基輝)



松林がかつての海岸線を伝える



今年ついに12万本植樹が完成 (野田市)

野田市では、平成8年に人口が12万人に達したことや、「みどりの市民会議」からの答申を受けて、市民ボランティアで組織する「みどりのふるさと実行委員会」や、多数の市民ボランティアの協力によって、平成9年度から12万本植樹事業を進めてきました。以来、平成10年度から、家庭や企業、植樹拠点などに、苗木を植えてきましたが、今年4月2日の苗木の家庭配布をもって、目標であった12万本植樹が達成できました。これにより、12万本植樹事業は完成しましたが、「みどりのふるさとづくり実行委員会」では、さらに次の目標づくりの検討に取りかかっているところです。

また、この間、実行委員会では樹木に関心のある住民の相談にのれるよう、実行委員の知識向上と、野田市のみどりづくりに対する人づくりを進めるために、独自の「みどりの相談員」の育成を目指した研修会を実施し、これまでに25人を「みどりの相談員」として認定。今年4月29日に実施した「みどりのふるさとづくりフェスタ2000」において認定証を交付しました。今後も相談員は増える予定で、植樹や樹木に関心のある住民が、近所の相談員に気軽に相談できる街づくりを目指し、緑化に対する市民意識の高揚を図りたいと考えております。



昨年11月23日に行った、野田市某季の街西側新築緑地における拠点植樹



君津市森林体験交流センター

ミツバツツジに親しめる遊歩道が 完成 (君津市)

君津市では林業構造改善事業の一つとして、森林体験交流センターと久留里城を結ぶ約800mの遊歩道を、平成5年～9年の5年間で整備しました。この遊歩道には、市の花ミツバツツジが約5,000本植栽されています。見頃は4月初旬～5月初旬です。城山林道を経由して一周すると約40分の道のりですが、途中には、久留里城資料館、天守閣などがあり、楽しめるコースになっていると思います。

なお、森林体験交流センターでは、月替わりで、楊枝作りや、ツル細工、リース作りなどの体験教室を開いています。遊歩道を歩きながら自然に触れ、交流センターで自然を生かしたモノづくりを体験することで、自然やみどりへの理解を深めていただければと、考えております。



市の花ミツバツツジ



千葉の散歩道

千葉県立
館山野鳥の森
(館山市)

「ふれあい野鳥館」のオープンで バードウォッチングがさらに楽しく!!



館山市の安房神社裏山に広がる「千葉県立館山野鳥の森」には、たくさんの鳥たちが集まってきました。特に冬は、木々の葉が落ち、バードウォッチングをするには絶好の季節です。胸に黒いネクタイのような模様を持つシジュウカラが、落ち葉をはねのけて餌を探しています。また、栗の鳥、ホオジロもよく見かけることができます。さらに、冬だけの鳥、ジョウビタキやノスリ、アカハラなどにも会うことができます。

面積は22.4ha。山なので広さを実感することは難しいのですが、長いコースになると歩くだけで3時間はかかります。山の高さは50mから146mくらいなので、それほど険しい山とはいえませんが、それでも、入り口付近は一気に登りますから、息切れがします。頂上から見下ろす平砂浦海岸や富士山の美しさは格別です。

さて、一度登ってしまえば、あとは尾根づたいに歩きます。今回のおすすめコースは、一周1時間30分程のファミリーハイキングコース。それほど長い道のりではありませんが、木々が重

なり合ってアーチを作っていたり、スミレが日澄りに咲いていた。こういう時間って必要だなと思わせる感動がそこそこに点在しています。尾根を越えて下ると、やがて西沢の池が見えてきます。ここでは、あの水辺の宝石と呼ばれているカワセミが見られます。コバルトブルーの背中に、緑の羽、足には赤い斑点があり、本当にきれいです。

ところで、山歩きをする前に、ぜひ、時間をかけて見てほしいのが、7月にオープンしたばかりの「ふれあい野鳥館」です。野鳥を中心にした森の自然についての資料が展示されているのですが、それらが上手に工夫されていて、つい時間の経つのを忘れるほど楽しい仕掛けになっているのです。たとえば、館内の夜の森コーナーに入って、赤外線スコープで動物や鳥の生態をバーチャルで観察するなど、ここだけでしか経験できないこともあります。そのほか、本物そっくりのジオラマコーナーや大型スクリーンで野鳥の生態を紹介する映像シアター、そして、野鳥や山野草の種類がパソコンで検索できる野

鳥情報コーナーなどがあります。

まずは「ふれあい野鳥館」で、ウォーミングアップをし、お目当ての鳥を探しに野鳥の森へ。これが、ここでの賢い過ごし方といえるかもしれません。



- 利用時間/午前9時～午後4時30分
- 休館日/12月29日～1月3日
- 入館料/無料
- 交通/JR内房線館山駅下車、JRバスで安房神戸廻り白浜行きに乗り、安房神社前下車徒歩7分。車の場合は、国道127号から410号へ入り南下すると案内板がある
- 問い合わせ/館山野鳥の森管理事務所 (☎0470-28-0166)



木の効能

ヤマモモ

生薬名 楊梅皮(ヨウバイヒ)、楊梅(ヨウバイ)

生薬部分

樹皮 果実

収穫と調整 樹皮を乾燥させたものを楊梅皮といい、夏の土用の頃、幹の皮をはいで天日で乾燥させて用います。果実の紅熟したものを楊梅といい、夏に収穫します。

用途 楊梅皮はタンニンを主成分として、解毒、止血、駆虫、下痢止めなどに用います。1回量として、楊梅皮3gに水300mlを加えて煎じ、半量まで煮つめ、空腹時に飲むと良いでしょう。楊梅は唾液の分泌を促進する作用があり、胃健、整腸の効能があります。生食しますが、腐りやすいので塩漬け、ヤマモモ酒などにして保存します。塩漬けは消毒を消し、脚気にも効くといわれます。打撲傷、ねんざには、楊梅皮末を卵白で練って幹部に直接塗ります。虫歯の痛み止め、口内のただれには、煎じた汁を口に含んだり、うがいをします。



スイカズラ

生薬名 忍冬(ニンドウ)、金銀花(キンギンカ)

生薬部分

葉茎 花蕾

収穫と調整 葉と茎は秋から冬にかけて採集し、天日で乾燥させます。これを忍冬といいます。花は4月～5月の開花期に花蕾を採集し陰干しにします。これを金銀花といいます。

用途 忍冬、金銀花とも、利尿、抗炎症、抗菌作用があります。神経痛やリウマチなどで関節が痛む時、腫れ物などの化膿性疾患、解熱、風邪で扁桃腺がはれた時などは、金銀花一日量1～3gを200mlの水で半量に煎じて食後に服用します。忍冬も同様の効果がありますが、一日量15～20gを400mlの水で煎じて服用します。また、浴湯料として忍冬50～100gを木綿の袋に入れ煮出してから、浴槽に入れます。痔の痛み、腰痛、関節炎、打ち身などに効果があります。



太陽と雨と大地からエネルギーを受け、光合成を行い、次第に成長する木々。その木々は私たちの目を楽しませ、気持ちを支えてくれるばかりではなく、薬となって、私たちの健康保持の手伝いさえしてくれます。今回は、たくさんある効能を持つ木々の中から、6種類をご紹介します。

なお、本文については、千葉県薬草園刊行「薬草ハンドブック」から引用させていただきました。



ナンテン

生薬名 南天実(ナンテンジツ)

生薬部分 果実

収穫と調整 秋から冬にかけて、熟した果実をハサミで切り取り、果実をしごきとり、天日で乾燥させます。なかなか乾きにくいので十分乾燥させる必要があります。これを南天実といい、形状は直径8mm内外で、中に2個の堅い種子があります。においはなく、味はとても苦いものです。

用途 ぜんそくや百日咳の際に咳止めとして、南天実5～10gを一日量としてよく砕いて水300mlで煎じ服用します。小児の場合には、苦いので、甘草2gを加え煎じるか、砂糖1～2さじを加えて使用します。なお、服用量は年齢によって加減します。

ウメ

生薬名 局外、烏梅(ウバイ)

生薬部分 未熟果

収穫と調整 熟す直前のいわゆる青梅を梅干や梅酒、梅肉エキスの材料とします。烏梅は未熟な青梅をわらを燃やした煙をあてて燻製にしたもので、外面が真っ黒でこわれやすく、ほぼ2～3cmの球状で粗いしわがあって、強い酸味があります。

用途 風邪には烏梅を水洗いして1～2個を水200mlで半量に煎じ、熱いうちに飲むと効き目があります。また、梅干1～2個をガス火で金網にのせ、黒くなるまで焼き、熱いうちに茶碗に入れて熱湯を注ぎます。シュウと音を立てて梅干がくずれますが、これを湯ごと飲むのも良い方法です。

クロモジ

生薬名 釣樟

(チョウショウ)

生薬部分 根皮

収穫と調整

必要時に根の皮を掘りとり、よく水洗いした後、細かく切って風通しの良い場所で陰干しにします。これを生薬で釣樟といいます。枝葉は、5月～10月頃、必要時に採取します。

用途 民間では、根皮は急性胃腸カタルや脚気に効き目があるとされています。一日量10gを煎じて3回に分けて服用します。寄生性皮膚病には、根皮20gに水200mlを加え、半量に煎じて患部に塗布します。また、樹皮は黒の文様があり、材は芳香があるため瓜楊枝などに用いられています。

キササゲ

生薬名

梓実(シジツ)

生薬部分 果実

収穫と調整 秋、さや状の果実がやや熟してきて褐色になる前、また中の種子が外にこぼれない未熟時に採取して、そのまま天日で乾燥させます。これが生薬の梓実です。

用途 浮腫を治療する民間薬として有名で、利尿作用が強く、腎炎(急性のものには特に効果があるといわれている)や、妊娠浮腫、脚気などの浮腫に効果があり、しばしば南蛮毛(トウモロコシの雌花の花柱)などと配合します。乾燥した果実2～3cmに刻み、一日量10gに水500mlを加えて、半量になるまで煎じて3回に分け食前に服用します。大量に服用すると、悪心、嘔吐を感じることがあります。



緑 自 慢

市原市の北部にある京葉小学校は、周辺に京葉工業地帯の大きな煙突が立ち並んでいます。同校は創立34年目、児童数559名。かつてこの地域は、東京湾の海岸線をなし、海苔の養殖が盛んで自然に恵まれた環境にありました。近年は急速に宅地化が進み、新しい住宅が学校を取り囲むように広がっています。

まわりの環境が大きく様変わっていく中で、身近な自然を見直そう、守っていこうと、3年前から本格的に環境教育に取り組み始めました。「昨年とおとしはすぐ近くの養老川河口での自然観察をしました。とにかく自然と遊ぼう、親しもうということですね。小さな千潟には無数のカニがいるんです。はさみをリズムよく動かす様子に、低学年の子供たちは大喜びでした」と校長の小沼明先生。野鳥もチドリやサギ、シギ類などたくさん生息しています。授業の中だけでなく、PTA、さらに「京葉の環境を守る会」という地域の組織もでき、休みを利用して野鳥観察をしたり河川敷のゴミ拾い、廃油を活用した石鹸作りをしたり…。こうした学校、PTA、地域が連携した活発な活動が認められ、おとし、昨年と2年連続で「ちば環境文化賞・特別賞」を受賞しました。

今年には市原市の環境教育の研究学校に指定されたのを機に、千葉県緑化推進委員会の「みどりの少年団」に児童全員が入団。その第1回目の活動として、養老川の河川敷にコ

スモスの種をまく「花いっぱい運動」が6月に行われました。コスモスは市の花として親しまれています。当日、120人を超える子供たちやPTA、地域の人々が集まり、スコップなどで土を柔らかくした後、等間隔に種をまきました。約2,500平方mの河川敷がコスモスの種でいっぱいになりました。運動の記念に、校章と2000の花文字を作ろうと子供たちは遠くから見ても、「もっと右、右、左…」なんて大はりきり。秋にはコスモスの花でいっぱいになるはずでしたが…。「実は、7月の大雨で河川敷が水没して、やっと育ってきたコスモスがかなり流されちゃったんですよ。自然は厳しいですね」と残念そうに校長先生は言います。子揃に取っておいた種をまいたけれど、8月の下旬から咲き始めたコスモスは、最初の期待ほどではありません。子供たちががっかりしたのは言うまでもありませんが、うまくいかなかったことで、たくさんのお話を学んだに違いありません。そして、成功した時の喜びはより大きなものとなるでしょう。

さて、校舎のまわりも、今、コスモスが百日草やサルビアなどの花々と一緒に咲き競っています。「給食の残飯を利用して堆肥を作ったり、落ち葉を発酵させて腐葉土を作り始めました。それを庭の草花や樹木、学級園の畑の肥料にするんです。農業をなるべく使わないで、地球にやさしい、そういう視点でと思っています」と、柔らかい笑顔を浮かべる校長先生。

身近な自然に対する温かなまなざしは、先生や地域の人々から子供たちに受け継がれていると、強く感じました。



この本 オススメします。



森におかえり
絵・粟祥明
文・新妻香織

アフリカの乾いた大地でみなしごフクロウを保護した日本人女性フミ。フクロウの棲める森を探して、内戦で荒れたエチオピアを放浪した、実際にあったお話。「アフリカにフクロウの森と学校を」キャンペーン絵本。

自由国民社 定価1,524円(税別)

千葉しぜんたんざく
ガイド
松戸市理科同好会
ネイチャークラブ著

泉自然公園、谷津千潟など、県内にある自然観察ポイント6ヶ所を約1,000点のカラー写真と楽しいイラストで紹介した本。千葉あそび場ガイドの姉妹編で、子供が見ても大人が見ても楽しめる一冊です。

丸善メイツ発行 定価1,500円(税別)



みどり通信 マイシャッター チャンス



四街道市 辻健一さん

3年前に撮影したデンファレです。芽の状態でプラスチックに入っているものをシンガポールで購入。花を咲かせました。以来、毎年咲いてくれます。ランは難しいといいますが、小さいうちから育てたせいか、我家の環境に合っているようです。

*抽選で「森におかえり」を1名、「千葉しぜんたんざくガイド」を2名の方にプレゼントします。ハガキに希望する本、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、(社)千葉県緑化推進委員会「プレゼント」係へご応募ください。また、グリーンえっせんすをどこでご覧になったか、ご意見、ご要望もお書き添えください。あて先はBページの右下参照。締め切りは12月31日(当日消印有効)。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

企業の中の緑

株式会社NTTドコモ

携帯電話でおなじみのNTTドコモ。1992年、NTT移動通信網株式会社として営業を開始し、1993年には、全国9社体制の地域別運営に移行。2000年4月には社名が株式会社NTTドコモと変更されました。そして、2000年3月末現在での社員数は約4,800人(9社合計10,098人)。

今、まさに成長期にあって、元気いっぱいのNTTドコモですが、モバイルで社会をリードするだけでなく、実は自然環境への配慮という点でも、積極的に取り組まれています。

NTTドコモグループでは、1999年より、自然環境保護活動の一環として「ドコモの森」づくりを実施。これは、(社)国土緑化推進機構の「緑の募金」制度を通じ、林野庁の「法人の森林」制度などを活用して行うもので、5年間でドコモグループ9社の各地域に実施していく予定で、これまですでに3回実施しています。その第1回は、1999年5月、山口県佐波郡徳地町滑山国有林にヤマザクラ、モミ、アカマツなど計250本を植樹した「ドコモ徳地滑山の森」づくり。第2回は1999年10月、神奈川県足柄上郡山北町世帯国有林に、ケヤキ、カエデ、ブナなど計200本を植樹した「ドコモ丹沢清流の森」づくり。



そして2000年6月、北海道苫小牧市樽前国有林に、アカエゾマツ、コブシ、カツラ、エゾヤマザクラ計2,760本を植樹した「ドコモ樽前の森」づくりが実施されました。

JR千歳みなと駅のそばにある千葉支店から、この森づくりに参加した社員さんは、その時の感想を少し興奮気味にこう語ってくださいました。「ドコモの森づくりは、私たちのような若い社員が気軽に参加できるコミュニケーションの場なんです。とにかくすごく楽しい一言！ 環境問題は人に教わるものじゃないですね。自分で体験し肌で感じたものを純粋に思うだけ。ドコモの森が教えてくれたことです」。

ドコモでは1999年6月に「ドコモ環境憲章」を制定。「地球市民としての地球環境保護・共生活動への支援に努め、社会に貢献したい」と、担当者の方は話しています。これからも緑の保全活動に大きな期待が持たれます。



風が多い場所なので背の高い苗木を植えて添え木に固定(神奈川県)

緑化基金へご寄附ありがとうございました。

中村 圭一

江澤 完誠

幸丸 富子

石川茂樹土木部

市原造樹部

植志造樹土木部

柳田造樹

柳加瀬造樹

加茂造樹部

柳幹樹部

柳共栄園緑化土木

京業緑化工事部

三協グリーン部

信和造樹土木部

共生光園

能武造樹土木部

高山造樹土木部

中和造樹土木部

築山緑化建設部

柳東城園

橋本屋造園部

林園緑地建設部

林造園土木部

富士造園土木部

藤本園緑化土木部

フタバ緑化産業園

柳マッセ

柳谷中造園

柳山田緑地建設

柳横芝緑化

社論理研究所千葉県論理法人会

千葉県造園建設業協同組合

※寄附者総数32

※平成12年1月から6月まで。

順不同、敬称は略させていただきます。

秋季・緑の募金のお願い

期間／9月1日～10月31日(秋の紅葉シーズン)



緑の募金法に基づき、「秋季・緑の募金運動」を行います。春季・緑の募金同様、県民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

お寄せいただいた募金は緑あふれ、潤いある環境づくりの推進などに役立てられ、その一部については、世界的な環境保全のための緑化運動や森林の整備にも役立てられます。

平成15年春・第54回全国植樹祭を千葉県で開催 開催テーマ・シンボルマークを募集します

第54回全国植樹祭が平成15年春に千葉県において開催されます。そこで、下記のとおり開催テーマおよびシンボルマークを募集します。

■応募方法

1 開催テーマ

- ・官製ハガキに開催テーマと簡単なテーマの説明を記入する。
- ・ハガキ1枚に1点とする。

2 シンボルマーク

- ・封書による郵送とする。
- ・シンボルマークはマスコットキャラクター的な性格を有するものとする。
- ・A4サイズの白紙にデザイン(色づけは自由)し、作品の裏面に製作の意図を記入する。

◎いずれの応募も

- ・1人何点でもできるが自作・未発表のものに限る。
- ・住所、氏名、ふりがな、年齢、職業(または学校名、学年)および電話番号を記入する。

■締切

平成12年11月30日まで(当日消印有効)

■賞

- ・最優秀賞 各1点(賞金10万円)
- ・優秀賞 各3点(賞金3万円)
- *小・中・高等学校等の児童生徒が入賞した場合、賞金相当額の図書券とする。

■発表

入賞者に直接通知

■その他

- ・最優秀作品はポスター、パンフレット等に使用。
- ・作品は一部修正、補作して使用することがある。
- ・入賞作品の著作権、著作権は主催者(千葉県)に帰属。
- ・応募作品は返却しない。

■応募および問い合わせ先

〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1
県庁みどり推進課「テーマ・マーク募集」係
☎043-223-3682

森林浴の集い参加者募集

紅葉も楽しめる秋の森林浴を実施します。

- 日時 平成12年11月25日(土)
- 場所 清和県民の森コース(健脚向き:10km程度)
*バスで出発・解散とも千葉駅付近になります。
- 募集人数 40名
- 参加費 大人、子供とも一人1,000円(傷害保険料・バス代含む)
- 申し込み 本委員会へ11月15日までに電話でお申し込みください。

但し、先着順で定員に達し次第締切といたします。

みどりのボランティア会員募集

「みどりのボランティア」はおもに県内の荒れた山林の整備等を行っています。会員登録ほか、ご関心のある方は本委員会までお問い合わせください。

*参加資格 満16歳以上の方



みどりのボランティア
シンボルマーク

●季節の花● アセビ(馬酔木)



写真提供/吉野 儀氏

スズランに似た花を枝にたくさん咲かせて美しいが、葉には毒があり、食べると足がしび

れる。アセビという名は、足痺れ(あししびれ)が転じたとも。アシビは古い名で万葉集にも登場する。馬酔木とも書くが、馬に限らず敏感な動物は食べない。開花は4～5月。

表紙の絵

表紙の作品は平成11年度国土緑化運動ポスター原画コンクールにおいて、小学校高学年の部で千葉日報社賞を受賞した、木更津市立畑沢小学校5学年(現6学年)・三留里香さんの作品です。



グリーンえっせんす 第17号

2000年10月1日発行

発行/社)千葉県緑化推進委員会

〒299-0265 袖ヶ浦市長浦拓2号500-148

TEL.0438-60-1521 FAX.0438-60-1522

編集/凸版印刷(株) TEL.043-245-7071

この広報誌は、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。